

## 全国学校飼育動物研究会 2010 年夏ワークショップ 開催報告書

全国学校飼育動物研究会 会長 宮下 英雄

日 時：平成 22 年 8 月 10 日（火）午後 1 時から 4 時半
会 場：東京学芸大学附属小金井小学校
テーマ：「学校での動物飼育の基礎」と「実習・ふれあい授業」
内 容：講演「学校での動物飼育の基礎」 講師／中川美穂子獣医師 全国学校飼育動物研究会事務局長、社）東京都獣医師会理事 実習「ふれあい授業指導法」 指導／社）東京都獣医師会会員 事例報告「東京学芸大学附属小金井小学校の飼育」 関田義博 東京学芸大学附属小金井小学校副校長
主 催：全国学校飼育動物研究会 共 催：東京学芸大学
後 援：社団法人東京都獣医師会 小金井市教育委員会 小平市教育委員会 国分寺市教育委員会 西東京市教育委員会 東村山市教育委員会 清瀬市教育委員会
協 力：社）東京都獣医師会 府中支部・北多摩支部 東久留米市

開 会：本会宮下会長、共催の大竹美登利学芸大副学長の趣旨説明の後、東京都教育庁地域教育支援部と指導部から参加なさったお二人からご挨拶を頂いた。

参加者：後援教育委員会の地域からの幼稚園や小学校教員が大半であったが、茨城県や神奈川県からも小学校教員の参加があった。また保育士や教育大学学生や教師、農業高校教師なども見られた。

参加総数：105 名

内、支援獣医師は、東京都獣医師会本部や支部の学校飼育動物委員の 17 名。

各自の動物病院の手術時間や往診時間を利用、あるいは一日休診にして参集した。

地域内訳は（東京都獣医師会北多摩支部の小平市、東久留米市、西東京市の会員）

（同 府中支部の小金井市、府中市、国分寺市の会員）

（同 中野支部、江東支部、多摩西支部、八王子支部、武蔵野三鷹支部の会員）

概 要：

「学校での動物飼育の基礎」の講義の後、体育館で 7 班に分かれてチャボとウサギを抱く体験をしたが、ウサギとチャボを 2 名の獣医師が一羽ずつ抱いて、各班の輪の中に入り、教員に抱き方やさわやかたを伝え、心地よい抱っこ体験の実現方法を実習し、かつ質問など、やり取りをして実習した。

その後全体会で、東京学芸大学附属小学校の飼育の紹介の後、実際の飼育ケージの作り方など自由に情報を交換した。なかには、ウサギが生まれ過ぎた学校と欲しい学校からの声などがあがり、良い交流の場になったと思われる。

感 想：

終了後のアンケートには、「飼育の意義とあり方を知った」とか、事例のビデオの子どもの姿をみて「改めて飼育を見直した」などがあり、また、動物を抱いた時に「気持ちが温かくなったのを感じた」とか、「その感触を、子どもにも感じさせたい」との、教師の実感が書かれていた。しかし、なにより管理職が理解しないと 良い実践はできないと思われる。

なお、ふれあい時には運営委員を含めて 17 名の獣医師が受講者をサポートしましたが、これについて、教員の方がたは、獣医師の方が大勢来てくれてありがたかったと、感想を述べた。